

IP NEWS

インテリアプランナーニュース



●CONTENTS

- 特集：インテリア対談
駒木定正 VS 安達治
- 2007年度 HIPA WORKS
- インテリアプランナーになろう
- NEW MEMBER
- 北海道インテリアプランナー協会のご案内

2008 vol.23

インテリア対談 『100年後の出会い』

北海道インテリアプランナー協会では、毎年、各種のイベント、セミナー等を開催しています。2007年度は、4月に青森見学ツアー、7月に美唄・増毛見学ツアーが実施されました。また、北海道における近代建築に造詣が深い、駒木定正氏を講師として以下のセミナーを開催、好評のうちに終了いたしました。

- 1回目 6月15日 北海道洋風住宅の歴史（マサチューセッツからの風）／札幌市立大学サテライトキャンパス
- 2回目 7月28日 赤れんがを作った男たち／赤れんが庁舎（北海道庁旧本庁舎）
- 3回目 10月6日 小樽の歴史的建造物見学会／バスツアー

その駒木氏と、北海道における建築写真で多大な実績のある安達治氏との対談が「IPニュース2008」の特集記事として企画されました。

11月28日、札幌市内において、『膨大な』お二人の写真を見ながらの対談が行われました。これは、その記録(抜粋)です。

—(以下敬称略)—

日 時 11月28日(水) 19:00～

場 所 「木心庵」2階ショールーム

札幌市豊平区豊平5条6丁目1-10

—100年後の出会い—

駒木 (古いインテリアの写真を見ながら)これは北海道の洋風住宅の初期の室内写真です。ここに1877年と書いてあります。これは、後で話題にするホイーラーが持っていた写真なのです。たまたま、アメリカの建築調査の準備をしているときに、この写真を入手しました。実はその(写真に記してある1877年から)100年後の1977年に、安達さんと僕は北海道で仕事を始めました。安達さんと僕が共通しているのは、それから30年間、北海道で建築関連の仕事をしてきたことです。

さて、今から130年前、どういう風に洋風デザインが北海道に入ってきたかということ、アメリカのマサチューセッツから開拓使のお雇い外国人であるケプロン、クラーク博士、ホイーラーらによってもたらされました。彼らはアメリカ大陸と太平洋を横断し、まず横浜に着きました。そして横浜から東京、北海道、とくに札幌に赴任し、洋風の



駒木定正

北海道釧路市生まれ
近畿大学理工学部建築学科卒業／現在、北海道職業能力開発大学校助教授／博士(工学)／一級建築士／著書：「小樽の建築探訪」「総覧日本の建築」「北海道の開拓と建築」他多数



安達 治

新潟県小千谷市片貝町生まれ
東京写真大学短期大学部卒業／建築写真家・村井修に師事／安達建築写真事務所／住宅雑誌や「商店建築」等の雑誌に多数の作品を掲載、現在、「リプラン」誌にて「ズームアップ住宅」連載中

建物を紹介したのです。私は4年前にアメリカのマサチューセッツ州の住宅を中心に調査をしてきました。またつい2週間前の11月にも、マサチューセッツ州立大学(University of Massachusetts、クラーク博士創設の大学)アマースト校で北海道への建築の影響について学生や一般の人に講演をしてきたばかりです。

実際、北海道とマサチューセッツの広さが似ていて、(マサチューセッツの)東西の距離は200kmくらいです。札幌を起点とすると釧路の手前くらい、あるいは、松前くらいがおよそ200kmですね。北緯も45度ラインで、気候風土が似ています。その似た気候風土の地域から、この3人(ケプロン、クラーク、ホイーラー)がやって来ました。

まずケプロンが最初(明治4(1871年))に来道し、いわゆる開拓使の顧問として陣頭指揮をとったのです。それから5年後にクラークとホイーラーが着任しました。クラークは、来日前にマサ



明治期のインテリア写真

チューセツ農科大学を創設しました。現在それは、私が講演をしたマサチューセツ州立大学という大学に発展しているのです。その第一期の卒業生がホイラーで、彼は土木技師でもありました。

北海道の明治初期の住宅は、屋根に石を置いているこんな外観でした。こういう風景の中に、突然ケブロンンの指導によって洋風建築ができたのです。その筆頭は開拓使の本庁舎(1873年)なのです。本格的な洋風建築が北海道に建てられた事になります。これは、今、北海道開拓の村に再現されている建物です。実際に再現の本庁舎を見るだけでも、かなり大きな建物だったことが分かります。当時の人たちはさぞ驚いたことと思います。建った場所は、今の「赤れんが庁舎」の北側です。その本庁舎から写した風景写真があるのですが、そこに洋造式邸が写っています。

この写真をアメリカで見てもらいながらクイズをしました。「日本の建物か？アメリカの建物か？」と聞いたのですが、「アメリカのものではない」との答えがほとんどでした。何故かというところ「煙突」が違うとのことでした。アメリカでは集合煙突が立っているが、このようなL字形になった、鉄板で作った煙突が壁から突き出ているのは北海道であると。

安達 この頃の暖房はどのようなものでしたか？

駒木 洋造式邸ができた明治6(1873)年には薪を使っていたのか、石炭を使っていたのか、私も詳しく調べていないのです。研究された遠藤明久先生によれば薪だったろうといわれています。北海道の建物と見えるもう一つの理由は、この写真に

「侍」の格好をしたような人が映っています。洋風の建物とミスマッチの光景だったので講演では大いに喜ばれました。

この他に北海道の開拓期の洋風住宅とアメリカの住宅の写真を見せて質問したところ、あまりに似ているので歓声を挙げながら応答してくれました。窓や軒飾りの詳細だけを見せると北海道なのかアメリカなのか分からないようでした。要するに北海道ではアメリカの建物をコピーして建てていたのですね。

安達 けど、この写真を見ると今で言う「建て売り」のように見えるね。同じスタイルの建物です。

駒木 アメリカの建物は、安達さんが言う様に本当は密集して建てないですね。もっと広い敷地に庭があってゆったり建てる。実際アメリカに行った時もゆったりと建っていてうらやましいと思いました。

安達 (北海道の写真には)木もないですね

駒木 建物が建てられた時の原風景は意外と木がないですね。

安達 それは、森の木を切って家を建てるから？

駒木 (洋造式邸の写真を見て)ただ、この辺りは鬱蒼としていますね。だから安達さんが言う様に開墾しちゃって木が無くなったのでしょうか。

クラーク博士とホイラーがやってきて、札幌農学校が出来上がったときの写真がこれです。この建物は外国人の人達が泊まった宿舎(洋造式邸)を利用して校舎にしました。

(別な写真を見て)これは、バーンという農場の建物ですが北大の第2農場にあります。時計台もそうですが、基本的には外壁が下見板でペンキを塗って、軒飾りを付けて、窓は上げ下げ窓とパ



洋造式邸(北海道大学附属図書館所蔵)

ターン化されていた。洋風建築の外観は類似して
いて外部を見ればこれは洋風だと分かるのですけ
れど、ではインテリアがどうなっていたのかとい
うと、実はあまり分かっていなかった。で、この
130年前の1877年にホイラーがアメリカに持ち
帰っていた写真をお見せしましょう。これはホ
イラーの親類宅に残っていたのを、北海道開拓
記念館の方が見つけ、さらに4年前のアメリカ調
査の準備中に紹介してもらった訳です。この写真
は、これまで知られていなかった明治期のインテ
リアがわかる貴重なものです。開拓期の洋風住宅
の内部が写された唯一の写真なのです。

－明治期のインテリア－

安達 (明治期のインテリア写真は)ほとんどない
のでしょうか？

駒木 全くない。住宅の部分でもない。

安達 その頃の写真としては、撮れなかったとい
う事もあるのかな？これだと昼間で相当外光が
入っているじゃないですか？

駒木 ここに額があって反射していますよね。だ
からきっと右側も縁側のガラスなのでしょうね。

安達 ここの机のところに相当強い陰が出ている
から、かなり外の光が入っている。この頃は、フィ
ルムの感度も低く、室内の写真を撮るのは大変難
しかったのでは。

駒木 これは相当、(外の)光が強い状態。額縁が
あって、欄間(ガラス入りの)があって、扉が開
放されている。これが扉かな？ 日本刀がありま
すね。刀があって、アメリカから輸入してきた家
具が中にあるという。これが、丁度130年前。で、
壁は漆喰ではなくて紙なんですよね。この辺手前
にシワが寄ってますよね。壁が紙であるというの
がわかる。ただ、これはどの建物を示しているの



豊平館(札幌市)



写真を見て対談するお二人

かと言うのは平面図であわせてけれども分からない。

ところで、明治初期の洋風建築はアメリカ人が
本国からいろんな資料を持ってきてそれを模倣し
て(北海道で)建てた。日本人の建築関連技術者
や大工はその指導を受けながら建てたのですけれ
ど、その後、日本人が洋風建築の設計技術をマス
ターして、「開拓使の建築の最高峰」と言われる「豊
平館」(明治13(1880)年)を設計するまでになっ
た。安達喜幸がその設計者であります。

－天井が高い－

駒木 (豊平館の写真を見ながら)実は、何でこの
写真を紹介するかというと豊平館の天井ってかな
り高いことを見せたかったからなのです。アメリ
カの住宅はこんなに高くはない。豊平館はかなり(天
井が)高いのが特徴です。

安達 北海道の明治期の資産家の住宅でも天井が
高いですね。和風でも高いですね。青山別邸(小
樽市祝津)なども天井が高いですね。

駒木 畳の部屋にジュータンを敷いて椅子、テー
ブルを置いて接待するという生活様式が明治期に
つくられ、そういう影響が北海道にダイレクトに
入ってきたせいか、和風天井は本来低いはずなの
だけれど、北海道のお金をつぎ込んだ和風の天井
はかなり高い。

駒木 それでですね、マサチューセッツに行って
撮影してきた写真を、今、北海道と比較しながら
見ていきます。紹介するのはオールド・スターブ
リッジ・ビレッジ(Old Sturbridge Village)と言
うところの建物なのですけれど、左右対称、いわ
ゆるシンメトリーのファサード(正面)になってい
て、下見板張りの壁に白ペンキが塗ってあって上



オールド・スターブリッジ・ビレッジ

げ下げ窓。まあこういうパターンで外観が統一されている。

その建物を実測調査し講演で紹介したところ、向こうの先生は目を丸くして「どうして」という顔をしていました。クラーク博士創設の大学の建築学科の先生ですけど、「日本人のお前が、なんでわざわざ実測調査するのか」と。平面の特徴をいうと基本的には正面に玄関が、真ん中に廊下を通す。そして、階段を廊下(まあホールと言うのですが)に設けて両側に部屋を配する。左右対称を基本としながら造っていった。だから平面計画と外観はアメリカでも日本でも同じような形態だった。

北海道でも、あまり知られていなかったのですが、基本的にはちゃんと洋風の平面を造っていたと言う事が分かってきました。そもそも、なんで洋風の建物を建てる事になったかという、基本的には寒さをどのように防ぐかが課題だった。防寒対策として洋風の建物を造って大壁にし、開口部や隙間を少なくして過ごしやすくしようとしたのが一番の目的だった。

安達 屋根も不思議な形をしていますね。

駒木 そうですね。基本的には寄せ棟だったようですね。(洋造壱邸の写真を見て)縁側を鉤の手状に廻しています。「桂離宮」などの大きい和風の建物では縁側が雁行していますが、洋造壱邸は日本人が考えた縁側のある洋風建物といえますね。縁側を造るのだけれども、内側を障子で開け放せるようになっているかという、そうではなくて、大壁なのですね。日本の伝統的な縁側を付けてはいるけれども、(大壁にして)防寒対策を考えていたのですね。

改めて見ると、きちんと洋風の平面の基本を踏

襲しているのですね。真ん中に玄関を持ってきて、廊下があって、左右対称である。内部を見ると洋風。一所懸命、寒さ対策も含めて洋風に行っているのですね。

—偶然、安達さんの結婚式が「豊平館」だった—

駒木 (再び、インテリアの写真を見て)僕の北海道住宅のインテリアはこの写真から始まる。で、基本的には防寒対策でこういう建物を造ったのが最初だった。では、100年後の記録は安達さんからお願いします。

—インテリアとカメラ—

安達 建築写真は写真の中でも特殊な分野ですから、それをちょっとお話したいなあと思っているのです。建築写真って、高層の建物でも写真にすると、垂直線が真っ直ぐになっています。垂直に建ってね！だけど下の距離と上の距離が違う訳だから本当は(垂直にみえるのは)錯覚なのですね。人間は目で見てるのでなくて、多分脳で見てるのだと思うのです。レンズをシフトして写真を撮っているのですけれども、人間の目で見るとそう見えてない。だから、人間は色々な物を錯覚している。また、錯覚を利用して色々な物をデザインしたり物を作ったりしていますね。細くみえる服だとか、脚が長くみえるパンツだとかあるけれ



普通のカメラで撮影したJRタワー



安達さんのカメラで撮影したJRタワー

ど、実際に脚が長くなったりする訳でなくて錯覚を利用して、いろんな物をしていると思うのです。

駒木 雑誌なんかに出てくる建物でも垂直に建物がなっていないと変な写真に見える。

安達 変でしょう！それで、そういう機構のついたカメラを今日は持ってきた。このようにレンズがシフトできるカメラになっている。水準器が付いていて、カメラを傾けなくても垂直を保ったまま撮影ができる。そういうカメラで撮っている。今、デジタルカメラが使われてきているが、一番遅れているのが建築写真の世界。最近、レンズをシフトできるカメラが出たらしいが、僕たちはさらにもっと広角を使うので、どうしてもインテリアの場合、広角を使わないと入らないのですね。映画のセットのように壁を壊して撮影する訳にはいけないので、広角を使わざるを得ない。特に、住宅の中を見たいと思っても勝手に見るわけにはいけないので、僕たちの写真の役割がそこにあると最近、思っています。



谷村美術館(新潟県)

—村野藤吾—

安達 (谷村美術館の写真を見て)日生劇場という建物が、日比谷公園の前の帝国ホテルの隣に建っているのですが、そこに行った時に、建築に感動しまして、建築を紹介する道に入りました。それで、設計をした村野藤吾の作品の追っかけを今でもしています。これは新潟県の富山寄りの糸魚川という処にある谷村美術館と言う小さな美術館です。木彫の仏像を造っている彫刻家(澤田政廣)がいてその人の作品を納めてあります。外観はこんな感じで大地から這い上がってきた様な建物です。中は、トップライトがあり、上から光りが入ってきます。手前に仏像があるのですが、通路は下



石山緑地の日没後に月が浮かぶ(札幌市)

にあり、暗くて仏像のところがブァーと出てくるようで、迷路のようになっています。

安達 これはJRタワーの展望室から撮った写真です。展望室からのアングルはなかなか良いなあと思います。これが絵葉書になって売っているのです。

駒木 デパートの看板が見えますね。シカゴの中心街ではこういう広告塔は殆どないです。付けないのが原則のようです。

安達 日本の場合出来上がってから醜いね。と言う事になるのは美意識の違いかなと思います。

同じJRタワーですが、普通のカメラで撮影するとこの様におおってみえます。僕のカメラで矯正するとこんな感じになるのです。(4ページ右下の写真参照)

—JRタワーの写真各種、朝日が当たるJRタワー、夕日が沈む瞬間のJRタワー、シベリア火災で霞む太陽が浮かぶJRタワー—

—さらに、聖ミカエル教会(アントニン・レーモンド設計/上遠野徹氏監修)、小樽運河工芸館(倉本龍彦)、安達邸(倉本龍彦)、清里町のホテルポリリーニャ(伊東豊雄)、釧路のフィッシャーマンズワームMOO(毛綱毅曠)、札幌ファクトリー、ホテルニドム、石山緑地、ウィンザーホテルなどの写真と撮影苦労談などが続く—

—感動する建物—

安達 (駒木邸の写真を見て)明治期の建物を移築したものを僕が撮った写真を持ってきました。これは、駒木邸ができた時の写真ですね。



駒木邸外観(小樽市)



駒木邸のシャンデリヤ

旧金澤友次郎邸〔五楽園／1904年〕は小樽市富岡に建っていたが、取り壊しになるところを、1986年から87年にかけて解体して移築された。和館部分は、小樽市稲穂の静屋通にある「蕎麦店・藪半」となり、洋館部分は小樽市最上に「駒木邸」として再生された。

駒木 シャンデリヤは、安達さんたちがシャンデリヤ基金を募って、江口正敏さん(アトリエ583)が作ってくれました。暖炉は大理石で、明治に移入したイングランド製のものです。

安達 昔は、暖炉だけで暖を取っていたのですね。

ーさらに富良野の倉本聰邸、個人住宅などの写真が続くー

駒木 安達さん、こうやって写していて感動するときがある？

安達 あるある。



屋根に雪が載っている住宅(宮島豊氏設計／札幌市)

駒木 しないときもある？

安達 いや、読めちゃう時ですね。読めないときに感動しますね。

ー雪の中の建物写真やインテリアの写真が続くー

安達 僕は建築の写真しか撮っていないものですが、雪が降ってくるとこういう風になってしまうため、建築家も僕に冬はあまり仕事を頼まない傾向がある。でも、本当は雪が載っている期間が半年もあるのだから、雪の季節の写真も撮りたいですね。

駒木 でも、今回はインテリアの人たちが多くですよ。インテリアはオールシーズンですね。

安達 インテリア写真って、照明器具も大きな要素ですが、最近は窓が大きくなってきているので、窓から見える風景、ピクチャーウィンドの効果をいつも考えています。自然が周りにはあるときは、自然を利用できますが、自然が無いときにどうするか問題ですね。

駒木 これは、ブロックが内部に出て、素材を見



光をデザインした家



トップライトがある仏間

せている建物ですね。

安達 建築家の設計する家は、あまり媚びないで、素材そのものを見せている事が多いですね。

安達 これは(光が差し込む家の写真を見て)、西野にある住宅です。内部も太陽光がデザインされて入ってくると言うのは感動的ですね。

駒木 ああ、光が斜めに差し込んでいますね。

安達 特にこの家は、内部がブロックのため、少し暗いのですが、暗いだけに光が感動的ですね。

駒木 光が入ってくる時間帯を考えているのでしょうかね。

安達 そうです。これは、朝の8時くらいに撮影しました。

駒木 和室も組み込まれていますね。上げ下げ窓が付いていますね。これは、雪見障子をイメージしたと思いますが、明治期に建てられた建物には、

外観を洋風で内部を和風にするのがあって、上げ下げ窓が当初、付けられたのですね。その後、外から見ると洋風ですが、内側に障子を建て込んで、和室を作るようになったのです。そして、和室から上げ下げ窓が消えてしまう北海道の歴史があります。

駒木 今、ずーっと大きいタイプの住宅の写真が続きましたが、これは、いつころ(撮影した)の写真ですか？

安達 15年ころ前ですね。

駒木 そうすると、安達さんが北海道で撮影してきた30年間で、前半の15年位前までは大きな家が建てられていたのですね。

安達 そうですね。丁度、バブルで豪華な家が建った頃の作品の時期ですね。その後は、お金を掛けた家が少なくなったかも知れません。最近は、公務員の人の家が目立ち始めましたね。昔は、お金持ちでなければ建築家に依頼しなかったのかも知れません。最近は、インターネットなどでアプローチして設計を依頼するケースが出てきていますね。年齢も下がってきていますね。昔は、僕よりも年上だったけれど、最近は撮影に行くと、みんな年下。それだけ自分が年を取ったのだと思う(笑)。

－和室－

安達 こうやって見ていくと、やはり和室がある家が多いですね。



大きな吹き抜けがある家



女性が一人住む家(札幌市)



銭函の崖っぷちに建つ家(小樽市)

駒木 開拓使の洋風住宅には、和室はほとんど無いのだけれども、明治17(1884)年に手宮に洋風の建物が造られる。そこは、外観が洋風なのだけれども、内部を和室に変えてしまう。変えると言うよりも、洋風の生活ができなかったため、和室が入ってくるのです。

安達 畳の部屋だとゴロっとできるけれども、絨毯の部屋でゴロっとするとだらしなく見えますね。

駒木 北海道の建物の歴史を追いかけていくと、文化としての洋風と日本伝統の和風の文化とをどう組み合わせているのかが非常に興味ありますね。

安達 木製サッシのペアガラスが出てきたのは、今から30年くらい前ですかね。昔の家では、冬、窓のガラスの霜を指で引っ掻いて見ていましたね。今は、曇りもしなくなってきました。

－藻岩山－

安達 札幌の西の方にある建物は、藻岩山を意識している建物が多いですね。この建物は窓が多いから寒いでしょうね。東京の設計者は、イメージで捕らえているから、こんなに札幌が寒いと思っていないかも知れません。

－この後、膨大な写真の連続が続きます、照明家がデザインした家、女性一人が住む家(写りたがりの猫がいる)／「リプラン」誌にて特集として

掲載、3世帯が住む家、銭函の崖に建つ家(朝日が印象的)－

等々紹介しきれません。予定された時間を遥かにオーバーして、写真と会話を堪能させていただきました。その後は、場所をレストランに変えて、イタリア料理を頂きながら、お話は深夜まで続きました。安達さんは、ガラスや反射する材質のインテリアが多いので、撮影のためにいつも黒い服を着ているそうです。また、お話をお聞きする機会ができればと思った次第です。お二人の今後のさらなるご活躍を！(HIPA 情報委員会)



収録風景

北海道能力開発大学校のご紹介

最近の技術革新は産業社会全体に大きな変革をもたらしております。このような環境の中で産業界では急速な技術革新に対応出来る技術全般に関わる実践能力を兼ね備えた人材を求めています。本校はこの様な産業社会の要請に応える為、職業能力開発促進法に基づき、工学的基礎理論の上に乗って「自らもの作りが出来る」、更に「高付加価値化、新分野展開に対応できる」、創造性豊かな情報化時代の実践技術者を「専門課程」と「応用過程」の2つの課程で養成し、地域産業社会、広くは我が国の産業社会の発展に寄与する事を目的として設立されました。

■沿革 1986年4月7日
北海道職業訓練短期大学校開校
1993年4月1日
北海道職業能力開発短期大学校に改称
2000年4月1日
北海道職業能力開発大学校に改称

■住所 〒047-0292 小樽市銭函3丁目190番地
TEL 0134-62-3553 FAX 0134-62-2154

インテリアプランナーになろう

- インテリアプランナーとは、財団法人建築技術教育普及センター (<http://www.jaeic.or.jp/ip.htm>)が実施する試験(年1回)に合格して、登録をした資格者のことです。ちなみに、1級/2級/木造建築士も当普及センターにおいて登録されています。
- 日本インテリアプランナー協会(JIPA/ジャイパ)とは、(詳細は<http://www.jipa-official.org/>)全国の地域インテリアプランナー協会の連合組織として1998年(平成10年)に発足した全国組織です。北海道・東京を初めとして、全国に10組織の地方インテリアプランナー協会があります。
- 北海道には、1991年に発足した北海道インテリアプランナー協会(HIPA/ヒパ)があります。会員構成は以下の様になっています。(詳細は<http://www.hipa.biz/>)
 - ・正会員(インテリアプランナー資格者)
 - ・準会員(どなたでも参加できます)
 - ・学生会員
 - ・賛助会員
- インテリアプランナー資格試験は、試験制度が2004年度より変わり、学科試験と設計製図試験が同日に行われる様になりました。(詳細は<http://www.jaeic.or.jp/ip-annai.htm>)
2008年度は、以下のスケジュールです。
 - ・試験案内配布開始：5月12日(月)
 - ・設計製図試験の設計課題公表：7月31日(休)
 - ・受験申込書頒布：7月31日(休)～9月19日(金)
 - ・受験申込書受付：8月1日(金)～9月19日(金)
 - ・学科及び設計製図試験：11月16日(日)
(試験地：札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡)
 - ・合格発表：2月12日頃の予定
- 2004年度から、受験資格は満20歳以上(試験を受ける年の4月1日現在)であれば、どなたでも受験ができる様になりました。ただし、登録資格には要件があります。(<http://www.jaeic.jp/ip-annai.htm#t1-0>)
- 試験は、「学科試験」及び「設計製図試験」が同日に実施されます。それぞれの「試験」ごとに合格者を決定し、5年以内に「学科試験」及び「設計製図試験」のいずれに

も合格した方が、インテリアプランナー試験の合格者となります。

(詳細は<http://www.jaeic.jp/ip-annai.htm#s4-2>)

- 2007年度の試験の構成と時間割は以下の通りです。

○学科試験(9:30～11:00 / 1時間30分)

- ・出題数 30問
- ・出題形式 四択択一式
- ・出題分野 インテリア計画、インテリア装備、インテリア施工、インテリア法規、建築一般

○設計製図試験(12:00～18:00 / 6時間)

- ・出題内容 建築物における空間の使われ方、生活のイメージが判るようなインテリア設計
- ・要求図書の種類 設計主旨、平面図、断面図、展開図、天井伏図、透視図、一部詳細図、仕上表、家具表等のうち指定するもの

- 北海道(HIPA)では、受験対策講座として、受験心得、平面図、透視図の受験対策講座を年1回、開催しています。北海道では、学科試験対策講座は現在、ありません。2007年度の受験対策講座は、11月4日(日)に開催されました。(詳細は<http://www.hipa.biz/news.html>)

- インテリアプランナー資格受験のためのテキスト等は、関西インテリアプランナー協会が発行しています。

(詳細は<http://www.jipa.net/kipa/>)

- 1)インテリアプランナー試験対策・学科テキスト
 - 2)2007年度インテリアプランナー試験対策・学科試験解答・解説
 - 3)設計製図試験/課題設計基礎資料・演習問題
- ご希望があれば、関西に直接申し込む方法と、学科試験問題のテキストは北海道の事務局にも在庫致します。2007年度の残部が若干、HIPA事務局に在庫しています。

- インテリアプランナー資格試験(学科・設計製図)に合格をして、インテリアプランナーに登録するためには、登録資格が必要です。(資格要件は<http://www.jaeic.or.jp/ip-touroku.htm>を参照して下さい)

登録資格等で、実務経験等が不足している場合でも、資格試験に合格をしていれば、実務経験等が充足した段階で登録を受けることができます。

■設計製図試験の要求図書(2006年度)

(1)設計製図答案用紙(1)、(2)の所定の位置に、下表の要求図書を完成させる。

要求図書	特記事項
平面図 兼 家具配置図 (縮尺 1/50)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な寸法を記入する。 ・スペース名または室名を記入する。 ・床レベルを記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・家具、器具等の配置を記入する。 ・床、壁、天井の仕上げを記入する。 ・テラス部分も含む。
透視図	<ul style="list-style-type: none"> ・設計意図をよく表している部分を描く。 ・大きさは、W400mm以上、H200mm以上とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・家具と人物を書き込む。 ・彩色する。
展開図 (縮尺 1/50)	<ul style="list-style-type: none"> ・設計意図をよく表している部分を描く。 ・主要な寸法を記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・家具等を図示する。

(2)鉛筆、色鉛筆、製図ペン、マーカーのいずれを用いてもよい。

(3)図面は、フリーハンドでもよい。

(4)寸法単位は、mとする。

■2006年度の学科試験抜粋

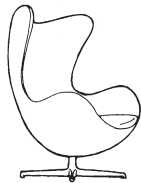
〔No.1〕 椅子と作家名の組み合わせとして、最も不適当なものは、次のうちどれか。

1.



ミース・ファン・デル・ローエ

2.



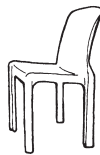
アルネ・ヤコブセン

3.



エーロ・サーリネン

4.



ピコ・マジストレッティ

〔No.10〕 カーペットに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 金華山織りは、手織り撥通である。
2. タイルカーペットは、そのほとんどがタフテッドカーペットをバックイングして、所定の寸法に裁断したカーペットである。
3. アクシミンスターカーペットの代表的なものは、カットタイプのカーペットである。
4. フックドラッグは、カットとループの混在したテクスチャーをつくりだすことができる。

〔No.20〕 用語に関する次の記述のうち、建築基準法上、誤っているものはどれか。

1. 建築物に設ける消火用のスプリンクラー設備は、「建築設備」である。
2. 一戸建住宅の構造上重要でない最下階の床のすべてを木造から鉄筋コンクリート造に造り替えることは、「大規模の模様替」である。
3. 建築物に関する工事用の図面(現寸図その他これに類するものを除く。)及び仕様書は、「設計図書」である。
4. 直接地上へ通ずる出入口のある階は、「避難階」である。

〔No.25〕 消防法上、消防用設備等の技術上の基準に関する規定の施行又は適用の際、現に存する防火対象物であっても、当該規定の適用が除外されない特定防火対象物に該当するものは、次のうちどれか。

1. 有料老人ホーム
2. 高等学校
3. 工場
4. 図書館と共同住宅の用途に供されている複合用途防火対象物

〔No.30〕 各種工事等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 木工事において、厚さ5.5mmの板材のとめ付けに、長さ22mmの釘を用いた。
2. 内装工事において、複合フローリングには、ホルムアルデヒドの放散量による区分が「F☆☆☆☆」のものを使用した。
3. 外壁の改修工事において、コンクリートのひび割れ部分にエポキシ樹脂を注入した。
4. 木造住宅の施工現場における防蟻処理において、土台や水まわり部分等の木部に、クロルピリホスを含有する防蟻剤を塗布した。

※正答枝(No.1=3、No.10=1、No.20=2、No.25=1、No.30=4)
 ※合格基準は30問中、18問以上(6割以上)です(2006年度の場合)

■過去5年間の設計製図試験の課題

年度	設計課題	要求図書
2003年度	昭和初期の事務所ビルを改修してつくるフレンチレストランのインテリア	平面図兼家具配置図、透視図、スケッチ
2004年度	国際空港の搭乗ロビーにあるワインバーのデザイン	平面図兼家具配置図、断面図、透視図
2005年度	料理教室を開くスペースのある住戸のインテリア	平面図兼家具配置図、透視図
2006年度	都市近郊にあるホテルのスイートルームのインテリア	平面図兼家具配置図、透視図、展開図
2007年度	デザイン事務所のインテリア	設計趣旨、平面図兼家具配置図、透視図、家具のスケッチ

2007年度 HIPA WORKS

事務局

事務局長 佐藤 利明

2007年度は色々な活動が有りました。各委員会の方々が率先してその目的に向かって動いてくれました事を感謝いたします。

今年度も昨年度同様に多くの入会者が有りました。会員の皆様のIP啓蒙活動と認知に普段から意識して頂き会員数増に結び付いている事が大変ありがたい事です。又、新入会委員の皆様はHIPAの活動に賛同され、これからも活動の中心となってHIPAを盛り上げて頂き会員相互の交流に役立ててください。

今後もインテリアプランナーの有るべき姿をHIPAの活動を通じて広めていく事に皆様のご協力を賜りますので宜しくお願い申し上げます。

総務委員会

委員長 村田 光吉

総務委員会は、組織強化と円滑な運営のための活動を実施しました。

会員の皆様がリーフレット等を活用していただいたお陰で多数の会員の入会がありました。しかし、準会員は増えておりますが、正会員(インテリアプランナー資格者)は、増えておりません。準会員の皆様は、インテリアプランナーの資格を取得していただき、正会員になっていただきたいと思っております。

会費の徴収については、皆様のご理解で速やかに納入していただけるようになりました。ありがとうございます。

新年会の開催に際しては、51名の参加をいただき盛大な新年会となりました。改めて会員皆様のパワーを感じております。今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

普及委員会

普及委員会 白鳥 孝

普及委員会としては初めてのインテリアセミナーを職業能力開発大学校 駒木定正さんを講師に招き、計3回(6月15日、7月28日、10月6日)行いました。

札幌市立大学デザイン学部、北海道職業能力大学校、北海道経済部商工局、北海道建設局住宅計画課との連携による歴史建築をテーマとした各セ

ミナーは、沢山の方々にご参加いただき、一般の参加者も交えた小樽歴史建築ツアーも、各メディアの取材を受ける等、非常に好評のうちに終了いたしました。

また、今回は学生への受験資格の広報活動も重点課題においております。一般の方も含めた、インテリアプランナー資格試験の受験者の増加とともに、毎年恒例の試験直前対策セミナーへの参加者が増えるよう今年度も普及活動していきます。

情報委員会

委員長 加藤 次大

IPニュースは「新しい情報」と「正しい知識」を掲載しながら、HIPA会員の誌面上での交流の場と思って発行して参りました。今年度は広くIPニュースが配布される事を願ってIP試験関連を特集しました。又、表紙は新会員で情報委員の田中千佳さんのデザインによるものです。新鮮さを感じて下さい。

交流・事業委員会

委員長 内村 喜憲

2月のボーリング大会に始まり、4月には初めて津軽海峡を越えて、「青森研修見学会」を実施し、前川國男、安藤忠雄の建築作品に触れ、青木淳の“青森県立美術館”から“三内丸山遺跡”をたどる旅は、時空を越えたすばらしい体験でした。

おまけの“十和田ホテル”でフランクロイドライトと宮大工の技に魅せられて、参加した16名の方々からも、好評を頂き主催者としても、事故も無く大満足の企画でした。

7月には、道外研修の余韻を残して、北海道再発見の旅と称して、「増毛国稀研修見学会」を実施しました。増毛の貴重な歴史的建造物、最北の造り酒屋の見学、美唄アルテピャツアのアートに触れるという盛りだくさんの研修会に、28名もの方々の参加を頂き、大変有意義な1日を過ごす事が出来まして、これまた大成功の企画でした。

9月には雨天ゴルフコンペを強行し例年通りハードな交流・事業委員会の1年でした。

永遠の課題ですが、何とか努力して、北海道のインテリアプランナーの皆さんが集い、盛り上がる協会にしたいですね。

SAPPORO DESIGN WEEK(札幌デザインウィーク)2007

地域発信のデザインイベント「デザインウィーク」が2007年11月1日～4日の4日間、多くの会場にて盛大に開催され、北海道インテリアプランナー協会も前年に続き参加しました。



他団体と共同での取り組みは、身近な物から消費されないデザインを見直す「my best standard design 100」というテーマで1日、道庁会場において実施されました。さらに、今回は当協会の発足16周年目の記念になる展示会としたい!…という皆さんの意見を受け、インテリアショールーム「GALLERY BAU(ギャラリーバウ)」に於いて単独展示会「HIPA 16th インテリアプランナーって何?」展を実施する事が出来ました。当協会としても貴重な経験であり大きな取り組みであったと思います。また、環境問題を視野に入れた中で、身近な廃材を見直し生き返らせる「MOTTAINAI CLUB(もったいないクラブ)」という商空間の造作に於いては材料収集に開催日ギリギリまで苦しみましたが、多くの協会関係者や学生さん達の協力を頂いたおかげで何とか完成させる事が出来ました。このとき廃材利用で作った照明器具が同時開催の「エコデザインアワード」の特別賞をいただく事が出来ました。

多くの皆さんが当協会の思いをご理解頂き、お忙しい中『無報酬』にも関わらず熱心にお手伝い頂いたからこそできたイベントと感謝しております。今後もこの取り組みの思いを持ち続け、絶やさずに何かの形で継続し、当協会の成果として表現していきたいと思っております。

札幌デザインウィーク特別委員会 委員長 谷内むつみ

IPEC2007デザイナーズショーケース出展を終えて

「Japan・Hokkaido・ECO」をテーマとして道産材のナラの組子・産廃処分材のホタテタイル・ト

ドマツ(間伐材)の集成材を使った私の作品『月を愛でるベンチII』がIPEC2007の出展作品として選ばれました。この作品は夜の庭をイメージし床にはホタテタイルを貼り、そこに組子を積層したベンチを置き、ベンチと連動した組子のステージに水を張った鉄製の手水鉢を載せ、水面に写った月を眺めるという構想のものでした。

素材提供は物林(株)、ベンチ等の加工を(有)樹工房、間接照明を東芝ライテック(株)、テキスタイル縫製加工を(株)あさひ製作所、手水鉢にいたっては準会員であるアーティストの浅井憲一さん〔(有)AZプロジェクト〕に作っていただきました。

IPEC出展により各地から来られた多くの方々、多くの作品に出会い大変貴重な経験ができました事に感謝しております。

次回もこのような企画がありましたら今度は応援団として私なりに誰かのお手伝いできればと思っています。また、一人でも多くのHIPAの皆さんに同じ様な経験をしていただければと思っています。

IPEC2007特別委員会 委員 倉井洋子

クリスマスデザイナーズパーティー

テーマカラーを「ブルー」として今年のパーティーが12月15日(出)ジャスマックプラザ「ザナドゥー」にて行われました。

フライヤー、チケットデザインは田中千佳さん。ディスプレイは倉井さん、谷内さん。イメージスクリーンは安田さんがリーディングしました。

女性の感性が際立つ素敵な内容となったように思います。

平尾さんが率いるジャズバンドの協力で、アダルトなクリスマスナイトを盛り上げました。

恒例の抽選会は海外旅行3本のスペシャル企画をはじめとして、各社のプレゼントも不景気風を吹っ飛ばす豪華な内容となり、一等「台北旅行」は学生さんが見事引き当てました。

きっと、彼はインテリアプランナーを受験することになります!!

みなさんご協力ありがとうございました!

X'mas特別委員会 委員長 白鳥 孝

賛助会員 新賛助会員紹介

■北海道インテリアプランナー協会では、
賛助会員を募集しております。
入会方法等は事務局までお問い合わせ下さい。

顕建築技術教育普及センター北海道支部

〒060-0042 札幌市中央区大通西5-11
大五ビル
TEL011-221-3150 FAX011-221-4136
URL <http://www.jaiec.or.jp/>
担当者/未定
事業内容/建築士等の試験の実施

アームテクノ株式会社

〒060-0031 札幌市中央区北1条東11丁目2番地
TEL011-251-6616 FAX011-251-6616
担当者/渡部 隆
事業内容/建築内装材企画販売、銘木練付不
燃材、化粧リブ板、他

アイカ工業株式会社札幌支店

〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条5丁目1番地4号
TEL011-811-9201 FAX011-812-2968
URL <http://www.aica.co.jp/>
担当者/未定
事業内容/化成品、建築材、什器建材、他

株式会社遠藤照明札幌営業所 新賛助会員

〒003-0806 札幌市白石区菊水6条2丁目6-30
チャンネルドア1F
TEL011-815-8161 FAX011-815-8162
URL <http://www.endo-lighting.co.jp>
担当者/三原 慎一
事業内容/照明・インテリア家具・海外・レ
ンタル

株式会社あさひ製作所

〒062-0911 札幌市豊平区旭町5丁目2番7号
TEL011-811-6028 FAX011-832-3139
担当者/営業：轟 雅行
事業内容/室内装飾

オーデリック株式会社

〒062-0041 札幌市豊平区福住1条2丁目8番8号
TEL011-855-6225 FAX011-855-6285
URL <http://www.odelic.co.jp/>
担当者/札幌営業所：高田 治紀
事業内容/照明器具製造販売

有限会社小笠原工芸社 新賛助会員

〒062-0039 札幌市豊平区西岡538-26
TEL011-582-8120 FAX011-582-8134
担当者/三上 輝
事業内容/特注家具製造

カム・エンジニアリング株式会社札幌事務所 新賛助会員

〒060-0032 札幌市中央区北2条東3丁目2番地
TEL011-281-5384 FAX011-281-5385
URL <http://www.cameui.jp/>
担当者/齊藤 貴博

株式会社川島織物セルコン札幌営業部

〒060-0009 札幌市中央区北9条西24丁目4-1
TEL011-644-1188 FAX011-644-1166
URL <http://www.kawashimaseikon.co.jp>
担当者/札幌営業部 永井 園美
事業内容/インテリア用品の製造販売

株式会社カンディハウス札幌

〒064-0946 札幌市中央区双子山4丁目1-10
TEL011-511-0303 FAX011-511-0505
URL <http://www.condehouse.co.jp/sapporo/>
担当者/営業部長：鹿股 正敏

株式会社カンディハウス道央支店

〒065-0013 札幌市東区北13条東1丁目1-15
TEL011-743-4401 FAX011-743-4402
URL <http://www.condehouse.co.jp/>
担当者/サブマネージャー：白鳥 孝

有限会社黄田印刷

〒064-0811 札幌市中央区南11条西17丁目1-2
TEL011-551-0150 FAX011-563-0073
担当者/黄田 司
事業内容/オリジナリティにあふれる印刷物
を生みだす一貫システム

クリナップ株式会社

〒003-0023 札幌市白石区南郷通11丁目北1-30
TEL011-864-8001 FAX011-864-7799
URL <http://www.cleanup.co.jp/>
担当者/札幌支店次長：木皿 俊一
事業内容/厨房機器、浴槽機器、洗面機器、
業務用厨房機器、その他

ケント・ハウス株式会社 新賛助会員

〒060-0809 札幌市北区北9条西4丁目18番地1
TEL011-746-5545 FAX011-746-4735
URL <http://www.kent-inc.co.jp>
担当者/横田 知明
事業内容/戸建注文住宅

小林商事株式会社

〒005-0841 札幌市南区石山1条6丁目14-8
担当者/波田野 ちさと
担当者携帯電話 090-5775-6863
事業内容/建材販売・内装施工

札幌育藤木材株式会社 新賛助会員

〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15番地
フジミツビル4F
TEL011-231-2082 FAX011-231-2073
担当者/松村 隆夫
事業内容/木材販売業・木工事

株式会社札幌ファニチャー

〒061-1270 北広島市大曲279番地70
TEL011-377-2177 FAX011-377-2188
URL <http://www.sapporo-furniture.jp/>
担当者/波豆 啓仁
事業内容/業務用イス・テーブル専門(カタ
ログ)、イス・テーブルの特注、イスの張替

株式会社サンゲツ札幌店

〒003-0011 札幌市白石区中央1条2丁目1-37
TEL011-832-3111 FAX011-832-3333
URL <http://www.sangesu.co.jp/>
担当者/札幌店営業課：小貴 秀樹
事業内容/内装材などインテリア商品の販売

シンコール株式会社北海道本社

〒060-0051 札幌市中央区南1条東6丁目1-1
TEL011-209-0123 FAX011-209-1131
URL <http://www.sincol.co.jp/>
担当者/本社営業部：山下 和良
事業内容/インテリア資材・製造販売

大光電機株式会社札幌支店

〒064-0804 札幌市中央区南4条西13丁目2-2
TEL011-561-8067 FAX011-551-9709
URL <http://www.lighting-daiko.co.jp/>
担当者/菊池支店長
事業内容/照明器具製造販売・照明計画・演
出・企画・提案

株式会社タジマ札幌営業所

〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目4
タケダ札幌ビル1F
TEL011-231-8261 FAX011-221-6379
担当者/緒方 みづき
事業内容/床材製造

株式会社天童木工札幌連絡所

〒062-0052 札幌市豊平区月寒東2条7丁目10-1
コスタ27 102号
TEL011-836-2222 FAX011-836-0101
URL <http://www.tendo-mokko.co.jp/>
担当者/川中 俊英
事業内容/家具の設計製造及び販売

東芝ライテック株式会社北海道電材営業部 新賛助会員

〒003-0023 札幌市白石区南郷通20丁目北3-28
TEL011-868-2015 FAX011-863-2284
URL <http://www.tlt.co.jp/tlt/>
担当者/稲富 正幸
事業内容/各種照明器具・配電・制御機器・
関連する工事

トソー株式会社札幌支店

〒003-0012 札幌市白石区中央2条3-3-10
TEL011-841-3731 FAX011-841-9926
URL <http://www.toso.co.jp/>
担当者/札幌支店営業課：田中 秀司
事業内容/インテリア製品の開発、製造、販売

株式会社トミタ

〒104-0031 東京都中央区京橋2-3-16
TEL03-3273-7551 FAX03-3273-7558
URL <http://www.tominet.co.jp/>
担当者/富田 順三
事業内容/壁紙、インテリアファブリック、
インテリア資材の貿易業務及び卸、販売

ニッポー・コーポレーション株式会社

〒060-0033 札幌市中央区北3条東3丁目
KNビル1F
TEL011-242-3303 FAX011-242-3306
担当者/浅利 糾史
事業内容/輸入家電製品等(ショールーム
グレースプロッサム)

パラマウントベッド株式会社札幌支店

〒060-0062 札幌市中央区南2条西13丁目318番地11
TEL011-271-1181(代) FAX011-271-7282
URL <http://www.in-time.jp/>
担当者/INTIMEマネージャー：田仲 剛

株式会社 Hand Made

〒004-0867 札幌市清田区北野7条4丁目11-20
TEL011-888-1122 FAX011-888-1123
URL <http://www.11shokunin.com/>
担当者/代表取締役：浦谷 幸史
事業内容/トータルリフォーム、環境エコリ
フォーム、マンション&インテリアプランニング

数美学園北海道芸術デザイン専門学校

〒001-0027 札幌市中央区南2条西13丁目318番地11
TEL011-717-6949 FAX011-717-6949
URL <http://www.bisen-g.ac.jp/>
担当者/環境デザイン：松原 祐子

株式会社福住

〒065-0012 札幌市東区北12条東1丁目4-23
TEL011-753-4555 FAX011-753-5121
担当者/福田 美佐子
事業内容/米国・コーラ社正規特約店&設計、施
工、販売、メンテナンス、住宅・店舗、設計・施工

北海道東リ株式会社

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目
アラゼンビル
TEL011-214-8340 FAX011-214-8348
URL <http://www.toli.co.jp/>
担当者/高橋 喜久男

物林株式会社北海道支店

〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目10-2
札幌HSビル
TEL011-271-1188 FAX011-271-3030
URL <http://www.mbr.co.jp/>
担当者/木構造・資材室長 金川 晃
事業内容/木材流通業

ヤマギワ株式会社札幌営業所

〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目10番地
ピア2-1ビル6F
TEL011-221-1321 FAX011-261-6557
URL <http://www.yamagiwa.co.jp/>
担当者/所長：加藤 登
事業内容/照明器具製造、販売及び家具イン
テリア販売

リリカラ株式会社札幌支店

〒063-0832 札幌市西区発寒12条12-2-20
TEL011-666-2125 FAX011-666-3696
URL <http://www.lilycolor.co.jp/>
担当者/札幌支店営業課：三浦 勝直
事業内容/壁紙、カーテン、床材の商品企画、
開発・販売

平成20年3月31日付のものです。
訂正がある場合は事務局までご連絡下さい。

HIPA

北海道インテリアプランナー協会
Hokkaido Interior Planners Association

協会案内

1987年、建設省の告示に基づきインテリアプランナー資格制度が発足し、その後インテリアプランナーの重要性が認識されるとともに、日本全国で資格取得者が増加してきました。

北海道インテリアプランナー協会(略称：HIPA)は、全国初のインテリアプランナーの資格者団体として1991年に設立されました。その後、全国各地でインテリアプランナー協会が発足すると、1998年には全国の協会を統合した日本インテリアプランナー協会協議会が発足しました。その後2004年12月に法人日本インテリアプランナー協会が設立されました。

協会では、インテリアプランナーの知識や技術の向上に始まり、一般的なインテリアに対する知識の普及や啓発を通して社会に貢献することを目標として、研鑽の日々を送っています。

会員の特典

- 会員証が交付されます。
- 各委員会活動、各事業に参加できます。
- 見学会・研究会・展示会ツアーなどに参加できます。
- 会誌・会報、会員名簿など刊物やメールの無料配布を受けられます。

● ウェブサイト上で会員専用の情報を得ることができます。

● 賛助会員(企業)からの製品情報やイベント、展示会案内を受けられます。

● 会員証の提示により、文具店などから製品購入の割引があります。

● 賛助会員にとっても会員に関する情報を得ることができ、活動に参加することで会と会員に密接にコンタクトできます。

入会案内

インテリアプランナーの能力を結集して各自の専門知識・技術の向上に努め、自らの社会的地位を確立するとともに、会員相互および内外諸機関との交流等を通じて社会と文化の発展に寄与することを目的とし、そのための活動を行います。主に北海道で活動されているインテリアプランナーの、幅広い交流と各自の能力向上を目指すためにも、北海道インテリアプランナー協会(略称：HIPA)への入会をお勧めいたします。

詳細はホームページをご覧ください。http://hipa.biz/

【受付お問い合わせ】

TEL 011-765-3309 (FAX兼用)
URL <http://www.hipa.biz/>
E-mail mail@hipa.biz
北海道インテリアプランナー協会事務局まで

会 費		
	入会金	年会費
正 会 員	10,000円	12,000円
準 会 員	---	8,000円
賛助会員	---	20,000円を1口とする
学生会員	---	5,000円

NEW MEMBER (順不同)

こちらこそよろしく!!



内沢 礼子 (うちざわ あやこ)・準会員

株式会社ダイナワン
〒065-0008
札幌市東区北8条東10丁目1-1
TEL011-330-1750



新藤紀彦 (しんどう のりひこ)・準会員

株式会社丸大建産
〒007-0811
札幌市東区東苗穂1条3丁目15-15
TEL011-790-3330



田上和昭 (たがみ かずあき)・準会員

AVA desian
〒005-0832
札幌市南区北ノ沢1条3丁目1-17
TEL011-573-2007

国民健康保険 加入のご案内

個人事業主の方々に朗報です

北海道インテリアプランナー協会 会員向けの保険組合『文芸美術国民健康保険組合』
日本インテリアプランナー協会として表題の組合に加盟しました。
北海道インテリアプランナー協会の個人事業主の方はこの保険組合に加盟できます。

※ただし、(株)・(有)等の社員、経営者は加入できません。

医療保険料	18年度	月額 13,200円 (前年 11,400円)
家族	"	月額 5,900円 (前年 5,200円)
介護保険料	"	月額 2,400円 (前年 2,000円)

【保険加入資格】

- 日本インテリアプランナー協会が各地域協会(北海道インテリアプランナー協会)の会員であることを承認する。
- 各地域協会(HIPA)の会員であること。協会会長の承認印が必要
- 各地域協会会費の滞納が無いこと。
- 準会員の方は正会員と同額の年会費を納めることで加入資格があります。(8,000円→12,000円)
- 確定申告書B控の職業欄にはデザイン、インテリアと記すことが条件。(建築設計業などは認められません、デザイナーである事が条件)

【加入手続き】

- 保険組合との手続き窓口は関西インテリアプランナー協会が行う。
- 申込は各地域協会の事務局へ申し込み依頼をする。
後日申込書などを事務局から郵送する。
- 申込時期は随時。

【入会金と事務費】

- 入会金は17,500円(税込み)とする。内7,000円は事故に備えて供託金とし、退会時にはその時点で総額金を組合員総数で割った金額を返却する。
- 事務費は年間2,500円(税込み)とする。一年毎に関西インテリアプランナー協会の指定銀行に振込。

IP NEWS
インテリアプランナーニュース
2008 vol.23

■発行 北海道インテリアプランナー協会

■編集 情報委員会

■事務局 〒001-0923

札幌市北区新川3条12丁目9-11

TEL 011-765-3309

FAX 011-765-3309

■URL <http://hipa.biz/>

■印刷 有限会社黄田印刷

■表紙デザイン

田中千佳